

第1回松江圏域県管理河川に関する減災対策協議会 議事概要

1. 日 時 : 平成29年5月23日(火) 16:05~17:10

2. 場 所 : 島根県民会館 3階 307会議室

3. 出 席 者

(協議会委員)

松江市 : 松江市長(代理 副市長)

安来市 : 安来市長(代理 副市長)

国土交通省 : 出雲河川事務所長

気象庁 : 松江地方气象台長

島根県 : 松江県土整備事務所長

広瀬土木事業所長

(オブザーバー)

国土交通省 : 中国地方整備局河川部

島根県 : 防災部防災危機管理課

島根県 : 土木部河川課

4. 松江県土整備事務所長 挨拶

5. 議題

1) 設立趣旨(案)の確認

2) 規約(案)の確認

3) 議事

(1) 「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく取組

(2) 現状の水害リスク情報や被害を軽減するための取組状況の共有

(3) 減災のための目標(案)

(4) 今後の進め方(案)

6. 議事結果

設立趣旨(案)、規約(案)、減災のための目標(案)、今後の進め方(案)について、協議会構成員の了承を頂いた。

7. 意見交換概要

【安来市副市長】

安来市内の中海に流れ込む県管理河川には中海の湖岸堤よりも護岸高が低く、施設すら整備されていないと言える河川（吉田川・木戸川・田頼川など）がある。これらの河川も協議会の対象とするのか。また、ハード整備も取り組みに含めるのか。

ハード・ソフト対策の一体的・計画的な推進とあるが、ソフト面の話しか見えてこない。例えば、河川内の流下断面の確保のため河川内の掘削や立木撤去等を行う考えはあるか。

【松江県土整備事務所長】

洪水予報河川・水位周知河川に指定されていない河川（吉田川・木戸川・田頼川など）についても協議会の対象と考えている。また、ハード整備には膨大な費用と時間が掛かる中、大洪水は何時発生するか分からないことから、ソフト対策も同時並行で進める必要がある。

維持管理としての掘削や立木撤去について、予算に限りはあるが優先順位を決めて取り組んでいきたい。